



Microsoft 365 Enterprise ライセンスガイド

2021年3月



目次

このガイドの使用について.....	2
Microsoft 365 の概要.....	2
Microsoft 365 のコンポーネント.....	3
Office 365.....	3
オンプレミスのサーバーの使用権.....	3
Office Professional Plus の権利.....	3
Windows 10 Enterprise.....	4
エディション.....	4
Enterprise Mobility + Security (EMS).....	4
その他の Microsoft 365 E5 Security and Compliance 機能.....	4
機能の比較.....	5
オプションの Microsoft 365 サービス.....	5
ライセンスの取得方法.....	6
購入方法.....	6
プログラムの提供状況.....	6
ライセンス シナリオ.....	8
シナリオ 1: ビジネスを完全にデジタル化して、リモートワークのニーズに対応し、安全性を確保する.....	8
シナリオ 2: 既存の投資のクレジットを利用して、オンプレミスの Enterprise Platform からユーザー単位のクラウドサービスへ移行する.....	8
シナリオ 3: クラウドに完全移行または部分的に移行しても、一部のオンプレミスソリューションを維持する必要がある.....	9
シナリオ 4: IT 担当者による一元管理を維持しながら、従業員の完全な個人所有デバイスの業務利用 (BYOD) のサポートを実現する.....	9
シナリオ 5: ソフトウェア アシユアランスのない MPSA からクラウドに移行する.....	10
シナリオ 6: Office Professional Plus と Core CAL Suite からユーザー単位のクラウドサービスに移行する.....	10
シナリオ 7: ユーザーごとの異なるニーズに対応する.....	11
よく寄せられる質問.....	12
関連情報.....	13

このガイドの使用について

このガイドでは、マイクロソフト コマーシャル ライセンス プログラムをご利用のお客様向けに、マイクロソフト コマーシャル ライセンス プログラムを通じて Microsoft 365 Enterprise プランのライセンスを取得する方法を説明します。Microsoft 365 Business プランや Education プランについては取り上げません。このガイドは情報提供を目的としており、Microsoft 365 のライセンスに関する他のドキュメントよりも優先されたり、そうしたドキュメントの代わりに使用したりするものではありません。Microsoft 365 の詳しいライセンス条項は、マイクロソフト コマーシャル ライセンスの製品条項サイト、およびそれを取得したマイクロソフト コマーシャル ライセンス契約に定義されています。このライセンス ガイドは、使用権に関する法的なドキュメントではありません。プログラムの仕様やビジネス ルールは変更される可能性があります。ライセンスの詳細については、製品条項サイトを参照してください。

Microsoft 365 の概要

今日のクラウドやモバイルのテクノロジーによって、企業はビジネスを再構築し、あらゆる人々に影響を及ぼすデジタルトランスフォーメーションを積極的に取り入れるようになりました。最新のイノベーションを取り入れることで、自社の製品やサービスに変革したり、これまでにない新たな方法で顧客とやり取りをしたり、運用を最新化して効率化をいっそう推進させることが可能になります。また、重要な点として、企業は最新の高度なテクノロジーを利用することで、従業員がより多くのことを達成できるように支援できるようになります。

Microsoft 365 では、ユーザー単位でライセンスを付与します。ライセンスの種類に応じて、Office 365、Windows 10 Enterprise、Enterprise Mobility + Security などのマイクロソフトのソフトウェアやサービス製品が含まれています。Microsoft 365 には、インフォメーション ワーカー (IW) 向けの E3 と E5 の 2 つのオプションと、現場の最前線で働く従業員 (ファーストライン ワーカー) (FLW) 向けの F1 と F3 の 2 つのオプションが用意されています。以下のソフトウェアおよびサービス製品を組み合わせることで、従業員は高い生産性、コラボレーション、モビリティ、ビジネス インサイト、そして何より、安全なエクスペリエンスを実現することができます。

Microsoft 365 F1	Microsoft 365 F3	Microsoft 365 E3	Microsoft 365 E5
Enterprise Mobility + Security E3 限定的な Office 365 サービス	Enterprise Mobility + Security E3 Office 365 F3 Windows 10 Enterprise E3	Enterprise Mobility + Security E3 Office 365 E3 Windows 10 Enterprise E3	Enterprise Mobility + Security E5 Office 365 E5 Windows 10 Enterprise E5 その他の Microsoft 365 E5 Security and Compliance 機能

Microsoft 365 のコンポーネント

Office 365

Office 365 E3 は、クラウドベースの生産性アプリとサービスを集めたスイートであり、情報保護とコンプライアンスの機能も含まれています。[Office 365 E3 の詳細については、こちらを参照してください。](#)

- **生産性アプリ** – Office デスクトップ アプリを最大 5 台の Windows PC または Mac にインストールできます。また、Office モバイル アプリを最大 5 台のタブレット、最大 5 台のスマートフォンにインストールできます。
- **情報保護** – メッセージ暗号化、権利管理、メールとファイルのデータ損失防止の機能によって情報を保護します。会社のリソースへのアクセスにおけるセキュリティを強化して、会社のデータを安全に保護できます。また、機密情報を組織の内外の相手と安全に共有することができます。
- **コンプライアンス** – 法的コンプライアンスとメール アーカイブを強化する機能として、電子情報開示とメールボックス ホールドを提供します。

Office 365 E5 は、Office 365 E3 と同じクラウドベースの生産性スイートに、高度な音声通信、分析、セキュリティ、コンプライアンスのサービスを組み合わせた製品です。[Office 365 E5 の詳細については、こちらを参照してください。](#)

- **高度な音声通信** – どこからでもどのデバイスからでも、仕事の電話の発信、受信、転送を行うことができます。
- **分析** – データの分析と可視化により、十分な情報に基づく意思決定を可能にします。
- **コンプライアンスとセキュリティ** – 組織のコンプライアンス リスクを評価し、機密データのガバナンスと保護を行い、法規制の要件に効果的に対応します。メール メッセージ、リンク (URL)、コラボレーション ツールに潜む悪意のある脅威から組織を安全に守ります。

オンプレミスのサーバーの使用権

EA/EAS 加入契約を通じて購入したすべての Microsoft 365 E3 および E5 のユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) には、以下の使用権が含まれます (Microsoft Customer Agreement や Web Direct を通じて購入した場合、これらの使用権は含まれません)。

- Exchange Server、SharePoint Server、Skype for Business Server
- サーバー ソフトウェアをオンプレミス サーバーにインストールする権利。ダウングレード権が含まれる
- 任意のライセンス取得済みオンプレミス サーバーにアクセスする権利

Office Professional Plus の権利

有効なソフトウェア アシュアランスをお持ちのお客様は、"From SA" USL を使用して Microsoft 365 に移行する場合、以下の権利を利用できます。

- Office Professional Plus
 - 1 回インストールして、Microsoft 365 のサブスクリプション期間中に利用できます。
- Office Professional Plus のコピーは、購入した "From SA" USL と 1:1 の比率まで、同じボリューム ライセンス契約に追加されたフル ユーザー サブスクリプション ライセンス (FUSL) のユーザーが利用できます。

例: "From SA" USL を 500 ライセンス、FUSL を 500 ライセンス購入した場合、すべてのユーザーが Office Professional Plus のコピーを受け取ることができます。

- Office Professional Plus ソフトウェア向けのダウングレード権

なお、Windows Server にアクセスするために使用する Microsoft 365 E3 および E5 のすべての USL ライセンスが対象になりますが、Windows Server 製品そのもののライセンスは含まれません。

Windows 10 Enterprise

エディション

Windows 10 Enterprise E3 は、Windows 10 Pro を基盤に構築され、中規模から大規模の組織のニーズに対応するために設計された高度な機能を含む製品です。たとえば、最新のセキュリティ脅威に対する高度な保護機能、オペレーティング システムの展開と更新用の幅広いオプション、デバイスとアプリの包括的な管理機能などがあります。Windows 10 Enterprise を実行するデバイスのお客様は、最新のセキュリティ機能と機能更新を継続的に利用できるだけでなく、新しいテクノロジーを導入するペースも選ぶことができます。[Windows 10 Enterprise の詳細については、こちらを参照してください。](#)

Windows 10 Enterprise E5 は、E3 のすべての機能に加え、企業ネットワークに対する高度な攻撃の検知、調査、対処を支援する Microsoft Defender for Endpoint を利用することを希望するお客様向けの製品です。

Microsoft Defender for Endpoint は、Windows 10 の既存のセキュリティ機能をベースにしており、Windows 10 セキュリティ スタックにセキュリティ侵害が発生した後の保護層として機能します。Windows 10 に組み込まれていたクライアント テクノロジーと堅牢なクラウド サービスを組み合わせることで、他の防御機能をすり抜けた脅威を検出し、セキュリティ侵害が発生したエンドポイントを調査するために必要な情報やお勧めの対処方法を企業に提供できます。[Windows 10 Enterprise の詳細については、こちらを参照してください。](#)

Enterprise Mobility + Security (EMS)

EMS は、マイクロソフトのエンタープライズ モビリティ ソリューションを利用した、より安全で統合された生産性エクスペリエンスをユーザーに提供します。ユーザーはどこにいても任意のデバイスから作業を行うことができ、Microsoft Office 365 などのアプリや生産的に作業するために必要なデータに簡単にアクセスできます。この他に、企業データを保護するツールも提供されるため、IT 担当者は安心して作業を行うことができます。こうしたツールには、モバイルの従業員のユーザー ID、デバイス、アプリ、データを一元的に管理する方法も含まれています。[Enterprise Mobility + Security の詳細については、こちらを参照してください。](#)

Microsoft 365 では、コンポーネントを個別に購入するのではなく、スイート割引を利用してクラウド サービスを購入することで価格を抑えることができます。Microsoft 365 によって、Enterprise Agreement のお客様は真のユーザー単位のライセンスモデルでライセンスを取得でき、あらゆるデバイス、あらゆるオペレーティング システムで一貫した生産性エクスペリエンスを利用することができます。また、Platform Enterprise Agreement やクラウド サービスのデバイスの数をカウントする必要がなくなるので、管理もいっそう容易になります。Enterprise Agreement に変更を加えることなくクラウドに移行できるほか、Bridge CAL や補正発注の必要もなくなります。

その他の Microsoft 365 E5 Security and Compliance 機能

以下の機能は、Microsoft 365 E5 プランでライセンスを取得したユーザーのみ利用可能です。

- 機械学習ベースの秘密度ラベルと保持¹
- エンドポイントのデータ損失防止 (DLP)¹
- 内部リスク管理²
- Application Guard for Office 365³
- 安全なドキュメント³

¹Microsoft 365 E5、Microsoft E5 Compliance、または Microsoft 365 E5 Information Protection & Governance が必要

²Microsoft 365 E5、Microsoft E5 Compliance、または Microsoft 365 E5 Insider Risk Management が必要

³Microsoft 365 E5 または Microsoft E5 Security が必要

機能の比較

Microsoft Enterprise プランの完全な比較表は、[Microsoft 365 Enterprise プランと価格](#)ページを参照してください。

オプションの Microsoft 365 サービス

以下は、Microsoft 365 プランに追加可能なサービスです。

		Microsoft 365			
		F1	F3	E3	E5
セキュリティと コンプライアンス	Microsoft 365 E5 Security	なし	なし	+	●
	Microsoft 365 E5 Compliance	なし	なし	+	●
	Microsoft 365 F5 Security	+	+	なし	なし
	Microsoft 365 F5 Compliance	+	+	なし	なし
	Microsoft 365 F5 Security + Compliance	+	+	なし	なし
	Microsoft 365 E5 Info Protection and Governance	+	+	+	●
	Microsoft 365 E5 Insider Risk Management	+	+	+	●
	Microsoft 365 E5 eDiscovery and Audit	+	+	+	●
	Microsoft Defender for Office 365 Plan 1	+	+	+	●
	Microsoft Defender for Office 365 Plan 2	+	+	+	●
	Microsoft Cloud App Security	+	+	+	●
	Microsoft Defender for Endpoint	+	+	+	●
	Office 365 Data Loss Prevention	なし	+	●	●
	Exchange Archiving	なし	+	●	●
	10 年間監査ログを保持	なし	なし	なし	+
Teams ¹	電話会議	+	+	+	●
	米国/カナダにダイヤルアウトできる電話会議の拡張機能	+ ²	+ ²	+ ³	+
	電話システム	+	+	+	●
	国内通話プラン	+ ³	+ ³	+ ³	+
	国際通話プラン (国内プランを含む)	+ ³	+ ³	+ ³	+
	米国およびカナダ向けの Teams Calling Essentials ⁴	なし	+	+	なし
	Business Voice ⁵	+	+	+	+
ナレッジと インサイト	Microsoft Viva トピック	+	+	+	+
	SharePoint Syntex	+	+	+	+
	Graph Connector の追加容量	なし	なし	+	+
	Power BI Pro	+	+	+	●
	Workplace Analytics	+	+	+	+

		Microsoft 365			
		F1	F3	E3	E5
ストレージ	Office 365 Extra File Storage	+	+	+	+
	eDiscovery Storage (500 GB)	+	+	+	+

● = 含まれる

+ = 追加可能

なし = 利用不可

¹提供状況や含まれる分数は地域によって異なります。サービスの提供状況は、<https://docs.microsoft.com/microsoftteams/country-and-region-availability-for-audio-conferencing-and-calling-plans/>で確認できます。無料通話や国内プランで利用できる国際通話の分数などの追加サービスは従量課金で利用できます。お客様は追加料金の発生を防ぐために、これらの機能を無効にすることができます。

²音声会議機能が必要です。

³電話システムが必要です。

⁴電話システムと国内通話プランが含まれます。提供は米国 (プエルトリコを含む) とカナダのみです。

⁵最大 300 シート。

ライセンスの取得方法

Microsoft 365 のライセンスは、ユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) ベースで付与されます。Microsoft 365 のサービスやソフトウェアにアクセスするユーザーごとに、USL を割り当てる必要があります。前提条件 (プランによって異なる) を満たしている組織は、複数の Microsoft Enterprise プランを組み合わせることもできます。

購入方法

プログラムの提供状況

ライセンス プログラムは、Microsoft 365 の購入チャネルです。Microsoft 365 は、マイクロソフト ボリューム ライセンス (VL)、クラウド ソリューション プロバイダー プログラム (CSP)、Web Direct (MOSP) のいずれかを通じてライセンスを取得できます。ボリューム ライセンスでは、Microsoft 365 は一般企業のお客様が以下の契約を通じて利用できます。

- Enterprise Agreement (EA)
- Enterprise Agreement Subscription (EAS)
- マイクロソフト 製品/サービス契約 (MP SA)

その他のチャネル:

- Microsoft Customer Agreement (CSP を利用)
- Microsoft Online Subscription Program (Web Direct/MOSP)

Microsoft 365 F1/F3 および E3/E5 は、エンタープライズ加入契約またはエンタープライズ サブスクリプション加入契約を通じて Full USL として利用できます。E3/E5 は、アドオン ライセンスまたは "From SA" USL としても利用できます。ライセンス オプションは以下のとおりです。

ライセンス	対象のお客様	注文可能な時期
Microsoft 365 Full USL	<ul style="list-style-type: none"> Enterprise Platform のライセンスをユーザー単位のクラウド サービスとして取得することを希望する Enterprise Agreement/Enterprise Agreement Subscription の新規のお客様 以下の条件を満たす既存の Enterprise Agreement/Enterprise Agreement Subscription のお客様: <ul style="list-style-type: none"> 現在、Office Professional Plus、CAL Suite、Window 10 Enterprise (Enterprise Platform) のライセンスを取得しておらず、ユーザー単位のクラウド サービスとしてライセンスを取得することを希望するお客様、または Enterprise Platform のライセンスをユーザー単位のクラウド サービスとして新規ユーザーに付与することを希望するお客様 <p>注: これらのお客様は、代わりに、Office Professional Plus、CAL Suite、Windows Enterprise Upgrade 用に、ライセンスおよびソフトウェア アシユアランス (L+SA) を購入し、Microsoft 365 アドオンを追加することもできます。</p>	契約期間中、 契約応当日、 更新時
Microsoft 365 アドオン	<p>以下の条件を満たす既存の Enterprise Agreement/Enterprise Agreement Subscription のお客様:</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、Office Professional Plus、CAL Suite、Windows 10 Enterprise (Enterprise Platform) のライセンスおよびソフトウェア アシユアランス (L+SA) の支払いを行っているお客様、かつ 更新前に、ユーザー単位のクラウド サービスとして Enterprise Platform の一部またはすべての既存ユーザーにライセンスを付与することを希望するお客様、または Enterprise Platform の既存および新規のユーザー用にオンプレミスの使用権を維持することを希望するお客様 	契約期間中、 契約応当日、 更新時
Microsoft 365 "From SA" USL	<p>以下の条件を満たす既存の Enterprise Agreement/Enterprise Agreement Subscription のお客様:</p> <ul style="list-style-type: none"> Office Professional Plus、CAL Suite、Windows Enterprise Upgrade (Enterprise Platform) の支払いがすべて完了したライセンスを取得しているお客様、かつ 現在、ソフトウェア アシユアランスに対してのみ支払いを行っているお客様、かつ Enterprise Platform の既存ユーザーにユーザー単位のクラウド サービスとしてライセンスを付与することを希望するお客様 	更新時 (推奨) または、契約応当日

Microsoft 365 のライセンス チャンネルおよびセグメントに関する詳細情報については、[製品条項サイト](#)を参照してください。

ボリューム ライセンス プログラムに加入するには、通常、契約や登録、あるいはその両方を行い、最小購入要件を満たしたうえで、マイクロソフトのリセラーからライセンスを注文する必要があります。ボリューム ライセンス プログラムを通じた購入方法、

販売パートナーの検索、その他の詳細については、[マイクロソフト ボリューム ライセンス Web サイト](#)を参照してください。

ライセンス シナリオ

シナリオ 1: ビジネスを完全にデジタル化して、 リモートワークのニーズに対応し、安全性を確保する

状況

Alpine Ski House は最近、Professional Desktop (Windows Enterprise E3、Office Professional Plus、Core CAL Suite) を利用するユーザー 1,500 名全員をカバーする自社のプラットフォームの Enterprise Agreement を更新しました。

ビジネス目標

今日の状況から、ユーザーの大部分が自宅からリモートで業務を行う必要があります。すべてのユーザーが他者と効果的にコラボレーションでき、必要な社内アプリやデータに安全にアクセスできるような、コスト効果の高い生産性ソリューションを求めています。

ソリューション

Microsoft 365 は、リアルタイムのコラボレーションと安全なリモートワークに対応したコスト効果の高いクラウドソリューションです。Microsoft Teams やクラウドストレージのほか、Word、Excel、PowerPoint、Outlook といったおなじみの Office アプリと高度なセキュリティオプションが含まれています。Microsoft 365 を利用することで、チャット、通話、オンライン会議の開催、リモートやオンサイトでのリアルタイムコラボレーションが可能になり、企業や個人が効率よく業務を進めながら、相互のつながりも確保することができます。

Alpine Ski House は、Microsoft 365 E3 アドオンを 1,400 購入することで、オンプレミスの Professional Desktop のライセンスを持つユーザーを Microsoft 365 E3 に簡単に移行することができます。次回の契約更新時に、Microsoft 365 E3 From SA を更新して、Professional Desktop ライセンスを削除できます。

シナリオ 2: 既存の投資のクレジットを利用して、 オンプレミスの Enterprise Platform からユーザー単位のクラウドサービスへ移行する

状況

Litware には、8,000 台の対象デバイスと 8,200 名の対象ユーザーが存在し、Enterprise Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Enterprise CAL Suite) をカバーする Enterprise Agreement を所有しています。Enterprise CAL Suite ではデバイス単位でライセンスを取得しています。これらのライセンスはすべて支払いが完了しており、現在はソフトウェア アシユアランスのみ支払いが発生しています。

ビジネス目標

モバイルワーカーと個人所有デバイスを利用するユーザーが急増していることから、同社は転換期を迎えていることを認識し、今が IT のコンシューマライゼーションに取り組む時期だと考えています。デバイスの数をカウントすることから解放され、4,000 名のユーザーをユーザー中心のライセンスソリューションに移行することを検討していますが、ゼロからライセンス計画をやり直す必要があったり、これまでのデバイスライセンスへの投資が無駄になってしまうのではないかと心配しています。

ソリューション

Microsoft 365 なら、4,000 名のユーザーのニーズを満たすユーザー中心のライセンスソリューションを提供できます。これには 2 つのオプションがあり、“From SA” USL がアドオンのどちらかを選択できます。

“From SA” USL では、既に所有しているライセンスのクレジットが提供されます。更新時に、4,000 名分の Enterprise Desktop のソフトウェアアシユアランスのみの支払いと 4,000 名分の Microsoft 365 “From SA” USL に移行できます。Litware は 1:1 の比率で Enterprise Desktop Platform から Microsoft 365 USL に移行したため、“From SA” の

Microsoft 365 USL を購入できます。

別の方法として、8,000 名分の Enterprise Desktop のソフトウェア アシユアランスのみの支払いを継続して (つまり、オンプレミス ライセンスを維持して)、4,000 名分の Microsoft 365 アドオンを追加することもできます。

シナリオ 3: クラウドに完全移行または部分的に移行しても、一部のオンプレミス ソリューションを維持する必要がある

状況

Margie's Travel は、Professional Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Core CAL Suite) を使用する 1,400 名の対象ユーザーをカバーする自社のプラットフォームの Enterprise Agreement を更新する必要があります。

ビジネス目標

クラウドに完全移行することを計画していますが、現時点では、システムの一部のワークロードをオンプレミスに残しておく必要があります。

ソリューション

Microsoft 365 は、すべてのユーザーにライセンスを付与するクラウド ソリューションを求めるお客様にとって最適なソリューションですが、現時点で一部の重要なワークロードをオンプレミスに残しておく必要があるお客様のニーズにも対応します。Microsoft 365 E3 および E5 のすべてのライセンスには、Exchange Server、SharePoint Server、Skype for Business Server のサーバー ソフトウェアをオンプレミス サーバーに無制限にインストールする権利が含まれています。Office Professional Plus の有効なソフトウェア アシユアランスを所有していて、“From SA” ライセンスを通じて Microsoft 365 へ移行するお客様は、Office Professional Plus を 1 回インストールし、Microsoft 365 のサブスクリプション期間中に利用することができます。

Margie's Travel は更新時期を迎え、既に Professional Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Core CAL Suite) の有効なソフトウェア アシユアランスを所有しているため、“From SA” ライセンスを使用することが推奨されます。Microsoft 365 E3 および E5 を組み合わせて購入することで、Professional Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Core CAL Suite) のすべての対象ユーザーをカバーする自社のプラットフォームの Enterprise Agreement を更新できます。たとえば、ユーザー 1,000 名に Microsoft 365 E3 のライセンスを付与し、残りの 400 名に Microsoft 365 E5 のライセンスを付与することができます。

シナリオ 4: IT 担当者による一元管理を維持しながら、従業員の完全な個人所有デバイスの業務利用 (BYOD) のサポートを実現する

状況

Trey Research は、Professional Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Core CAL Suite) の対象デバイス 1,000 台と対象ユーザー 1,000 名をカバーするプラットフォームの Enterprise Agreement を所有しています。Core CAL Suite では、ユーザー単位でライセンスを取得しています。Office 365 Enterprise E3 アドオンで 200 名のユーザーにライセンスを付与して、ユーザーベースのクラウド サービスをパイロット導入しました。

ビジネス目標

Trey Research は、今後 2 年以内にすべての従業員が完全に自由な BYOD を利用できるようにサポートしたいと考えています。同社のセキュリティと管理性の要件を満たすためには、アクセス制御とデータ保護のための包括的な機能セットが必要になります。

ソリューション

Office 365 Enterprise E3 と Windows 10 Enterprise E3 によって、ユーザーの自由な BYOD の利用を実現できます。また、Enterprise Mobility + Security E3 によって、データを保護しながらすべてのデバイス、アプリケーション、ユーザー ID を管理するために必要なツールを IT 担当者に提供できます。Office 365 Enterprise E3 での経験に基づき、同社はオンプレミスライセンスを維持しながら、パイロット運用を拡張して 1,000 名のすべてのユーザーに Microsoft 365 を提供する予定です。

そのためには、次回の契約応当日に、200 名分の Office 365 Enterprise E3 アドオンを解約し、1,000 名分の Microsoft 365 アドオンを追加します。翌年の契約更新時には、Professional Desktop のソフトウェア アシユアランスの支払いを継続して 1,000 名分の Microsoft 365 アドオンを購入するか、Professional Desktop のソフトウェア アシユアランスの支払いを止めて、1,000 名分の Microsoft 365 “From SA” USL を購入することでクラウドに完全移行するかを選択できます。

Microsoft 365 アドオンまたは USL をすべての従業員に割り当てた後は、追加のライセンスを購入することなく、従業員に追加の対象デバイスの使用を許可できます。

シナリオ 5: ソフトウェア アシユアランスのない MPSA からクラウドに移行する

状況

Fourth Coffee は、MPSA 契約を通じて、ソフトウェア アシユアランスなしで追加の生産性サーバー ライセンスと CAL を購入しました。同社のサーバー インフラストラクチャは老朽化しており、更新や管理には膨大な時間とコストが必要になります。社内のさまざまな部門にいる 2,500 名のユーザーが、約 3,000 台の PC を利用しています。そのすべての PC が Windows 8.1 Pro または 10 が搭載された状態で購入されました。この数年では、個人所有デバイスを業務で使用したいと希望する従業員が増え続けています。

ビジネス目標

Fourth Coffee は、すべてのサーバー インフラストラクチャを更新および管理するために必要な支出や IT 担当者の負荷を抑えるために、クラウドに移行することに決定しました。また、従業員が職場で個人所有デバイスを利用できるようにしたいと考えていますが、各デバイスのライセンスの数をカウントしたり監視したりすることなく、これらのデバイスをカバーできるライセンス ソリューションを求めています。

ソリューション

Fourth Coffee は、2,500 名のユーザー全員に Microsoft 365 USL を付与する新たな Enterprise Agreement を締結することで、これらすべてのビジネス目標を達成できます。老朽化したサーバー インフラストラクチャをクラウド サービスに置き換え、ユーザーの数のみをカウントするだけでよいライセンス ソリューションによって、すべての従業員の個人所有デバイスをカバーします。また、新規ユーザーが増えたとしても、追加の CAL を購入する必要はなく、自社のペースに合わせてクラウドに移行することができます。Microsoft 365 により、オンプレミス サーバーにも CAL と同じようにアクセスできます。

シナリオ 6: Office Professional Plus と Core CAL Suite からユーザー単位のクラウド サービスに移行する

状況

Contoso Pharmaceuticals は、ユーザー単位でライセンスを取得した Core CAL Suite と Office Professional Plus の Enterprise Agreement を所有しています。また同社は、1,500 台の対象デバイスと、1,000 名の対象ユーザーを抱えています。

ビジネス目標

すべてのユーザーを Microsoft 365 に移行して、個人所有デバイスから Windows Enterprise にアクセスできるようにするなど、従来からのメリットと柔軟性を得られるようにしたいと考えています。また、これをできるだけ早く実現したいと考えています。

ソリューション

ビジネス目標を達成するには、以下のことを行います。

- 1) 任意の時点 (契約期間中または契約応当日) で、1,000 名分の Office 365 Enterprise E5 アドオン、1,000 名分の EMS アドオン、1,000 名分の Windows 10 Enterprise E5 Full USL を注文します (現在、同社の Enterprise Agreement には Windows Enterprise ソフトウェア アシユアランスが含まれないため、同社は Windows 10 Enterprise E5 アドオンの対象になりません)。
- 2) 更新時に、1,000 名分の Microsoft 365 E5 USL を注文し、Office Professional Plus、Core CAL Suite、Office 365 Enterprise E5 アドオン、EMS アドオン、Windows 10 Enterprise E5 USL の契約を解除します。

シナリオ 7: ユーザーごとの異なるニーズに対応する

状況

Tailspin Toys は、1,750 台の対象デバイスと 1,000 名の対象ユーザーに対応する Enterprise Desktop Platform の Enterprise Agreement を所有しています。Enterprise CAL Suite ではユーザー単位でライセンスを取得しています。ユーザーのうち 750 名は営業チームに所属しており、それぞれ 2 台ずつデバイスを所有しています。残りの 250 名は本社勤務で、それぞれ 1 台ずつデバイスを所有しています。同社は今後 1 年間で以下の変更を行うことを検討しています。

- 営業チームの 50 名に、VDI Windows クライアント デスクトップにアクセスできる iPad を支給する
- 営業チームの人員を 50名追加し、Windows Pro (7 以降) のライセンスが付与された個人所有デバイスを使用してもらう
- 本社チームにフルタイム従業員を 25 名追加し、新しい Windows 10 Pro デバイスを支給する
- 本社チームにパートタイム従業員を 10 名追加し、個人所有デバイスから VDI デスクトップにアクセスできるようにする

ビジネス目標

Tailspin Toys は、ユーザーの多様なニーズを満たすライセンス ソリューションを必要としています。まず、営業チームには、どこにいてもどのデバイスからでも生産的に業務ができる柔軟性を提供する必要があります。また、新しい 10 名のパートタイム従業員には、他のユーザーと同様の生産性ツールやコラボレーション ツールにアクセスできるようにし、それを IT 部門によって一元管理してもらう必要があります。

ソリューション

このビジネス目標を達成するための第一歩は、営業チームに Microsoft 365 の機能を提供することです。それには、750 名分の Microsoft 365 アドオンを購入します。ユーザー単位のライセンスに移行することで、50 台の iPad の支給用に追加ライセンスを購入する必要がなくなります。また、営業チームに新たに加わる従業員には、Microsoft 365 USL のライセンスを付与します。

契約応当日には、対象デバイスの数と対象ユーザーの数に、新しいフルタイム従業員の数と Windows Pro (7 以降) デバイスの数を含めて、補正発注します。同社は、現時点では、これらのユーザーに対して Microsoft 365 による追加の柔軟性を提供する必要はないと判断しました。今後その考えに変更があった場合は、Microsoft 365 アドオンをそのユーザーの数だけ購入すれば済みます。

10 名の新しいパートタイム従業員には、Windows Pro (7 以降) のライセンスが付与された業務用プライマリ デバイスが用意されないため、Windows 10 Enterprise E3 の利用資格がなく、Microsoft 365 USL の対象になりません。ただし、各ユーザーに Windows Virtual Desktop Access (VDA) per User、Office 365 Enterprise E3、Enterprise Mobility + Security のライセンスを付与すれば、同様のユーザー特典を受けることができます。Windows Virtual Desktop Access (VDA) per User によって、各ユーザーは、Windows 7、8、または 8.1 Pro のライセンスを付与されている場合、任意のデバイ

スからリモートの Windows Client VDI デスクトップにアクセスする権利と、デバイスに Windows Enterprise をインストールする権利が得られます。

よく寄せられる質問

Q1: Microsoft 365 には Bridge CAL が必要ですか。

A: 完全な Microsoft 365 を購入する場合、Bridge CAL は不要です。契約当日に Office 365 Enterprise E3 “From SA” のみ、または Enterprise Mobility + Security “From SA” のみに移行する場合は、残りの CAL Suite コンポーネントを維持するために、対応する Bridge CAL を購入する必要があります。

Q2: Windows 10 Enterprise E3 は、Windows Enterprise Upgrade とソフトウェア アシユアランスの組み合わせとどう違うのですか。

A: Windows Enterprise Upgrade とソフトウェア アシユアランスの組み合わせでは、デバイス単位でライセンスが付与されるため、デバイスごとに Windows Pro などのオペレーティング システムが必要になります。関連するユーザーの権利 (ローカル インストール、VDI の使用権、Windows To Go) は、ライセンスが付与されたデバイスに対してのみ適用されます。

Windows 10 Enterprise E3 は、Windows Pro (7 以降) または Windows Enterprise のライセンスを既に付与されている業務用プライマリ デバイスを持つプライマリ ユーザーが利用できます。関連するユーザーの権利 (ローカル インストール、VDI の使用権、Windows To Go) は、ライセンスが付与されたユーザーのすべてのデバイスに適用されます。

Q3: ユーザーが Windows Pro (7 以降) または Windows Enterprise を実行しているプライマリ デバイスを所有していない場合、どうなりますか。

A: Windows Pro (7 以降) または Windows Enterprise を実行しているプライマリ デバイスを所有するプライマリ ユーザーがない場合は、Windows VDA per User USL を利用できます。Windows VDA per User では、プライマリ デバイスで対象オペレーティング システムを実行している必要はなく、ユーザーがそのデバイスのプライマリ ユーザーである必要もありません。Windows VDA per User では、任意のデバイスで VDI または Windows To Go を利用できます。また、ライセンスが付与されたユーザーが使用する、Windows Pro (7 以降) または Windows Enterprise のライセンスを既に取得している任意のデバイスでローカル インストールを行うことができます。Windows 10 Enterprise E3 アドオン、Windows VDA per Device のライセンスが付与されたプライマリ デバイスのプライマリ ユーザーに割り当て、そのユーザーに Windows VDA per User のすべての権利を付与することもできます。

Q4: Microsoft 365 で提供されるオンプレミスの権利について教えてください。

A: Microsoft 365 ユーザーには、生産性サーバーおよび Office Professional Plus に対する以下のオンプレミスの権利が提供されます。

- サーバーおよびクライアント ソフトウェアをインストールし、それをサブスクリプション期間中に使用する権利 (ライセンス資格ではない)
- 最新バージョンまたは以前のバージョンのソフトウェアを使用する権利
- オンプレミスの権利はライセンスではないため、ソフトウェア アシユアランス特典を含まれない

生産性サーバーの権利には、以下が含まれます。

- 無制限のサーバーのインストール
- Microsoft 365 ユーザーへの排他的アクセス
- お客様専用のハードウェア サーバーの展開のみ
- マルチテナント クラウドへの展開の権利はない

Office Professional Plus のコピーには、以下が含まれます。

- 購入した Microsoft 365 “From SA” USL につき 1 つのローカル インストール
- Microsoft 365 “From SA” USL のユーザー、または既存のソフトウェア アシユアランスでカバーされているユーザーへの権利
- Microsoft 365 の新規ユーザーへの限定的な権利。“From SA” ユーザーの数 (1:1 の比率) まで
- RDS でサーバーにクライアントを展開する権利はない

関連情報

リソース:	リンク
製品条項サイト	https://www.microsoft.com/licensing/terms/ja-JP/welcome/welcomepage
Microsoft 365 Enterprise のプランと価格	https://www.microsoft.com/microsoft-365/compare-microsoft-365-enterprise-plans
現場の最前線で働く従業員 (ファーストラインワーカー) のための Microsoft 365	https://www.microsoft.com/microsoft-365/enterprise/frontline
Microsoft 365 E5 Compliance	https://www.microsoft.com/microsoft-365/business/e5-compliance

© 2021 Microsoft Corporation. All rights reserved.このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトの代理店を通じて取得するライセンスの価格は、代理店によって決定されます。